

密かに好きだった男友達みたいなの  
巨乳幼馴染が

他の男と付き合いそうになつたので  
慌ててチンポで告白した





七海と  
出会ったのは  
小一の頃――

うわ…  
また死んだ…

彼女が隣に引っ越して  
きた時からの付き合いだ

昔からボーイッシュで  
趣味も男子みたいな  
ものばかり

恋愛とかオシャレとか  
普通の女の子が好きに  
なるようなものには  
まるで興味が無い

圭一  
これクソゲー  
じゃない？

へいへい…

こんなに可愛いのに  
いまいちモテない  
のはそのせいだろう

だけど、それでいい  
七海の魅力を  
分かっているのは  
僕だけでいい

いつか必ず  
七海と――

そう言えばさ















おっぱい揉まれて  
気持ちいいの？

ば、ばか  
そんなわけ…



息が荒くなって  
きてる

もみ



くっ…  
止めさせないと  
いけないのに…っ

嘘つき

本当は  
気持ちいい  
んでしょ？

あ…

やめ…

七海のことなら  
何でも分かるん  
だから

気持ちよくて…

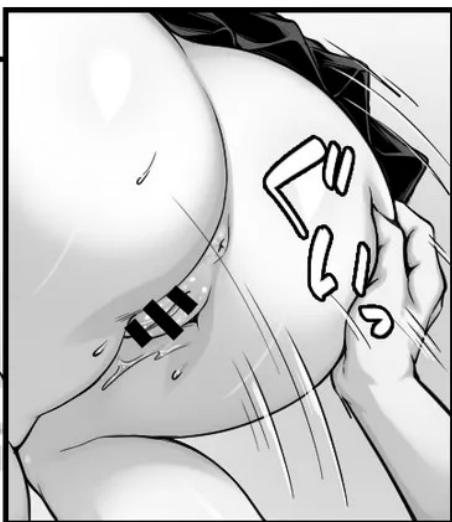
抵抗できない…っ♡

い…

め…



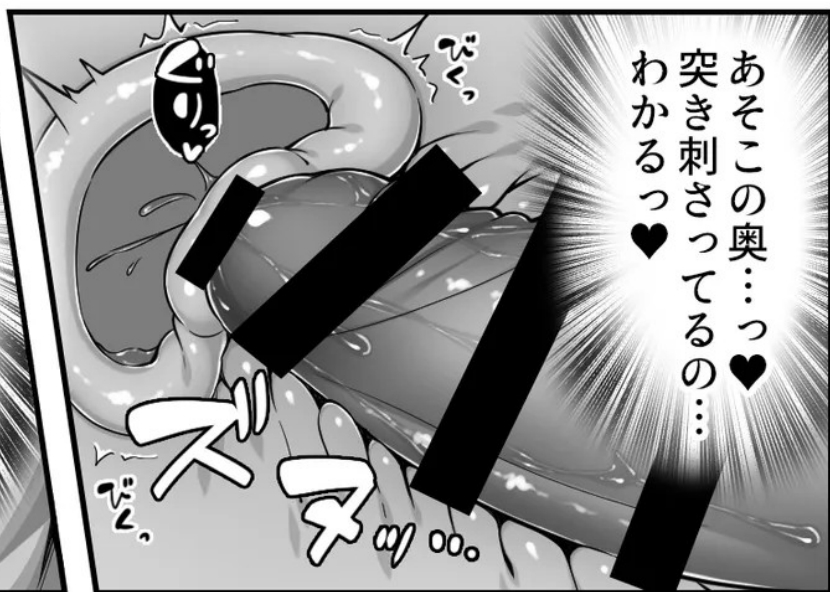




















それっ♡  
奥きもちいッ♡

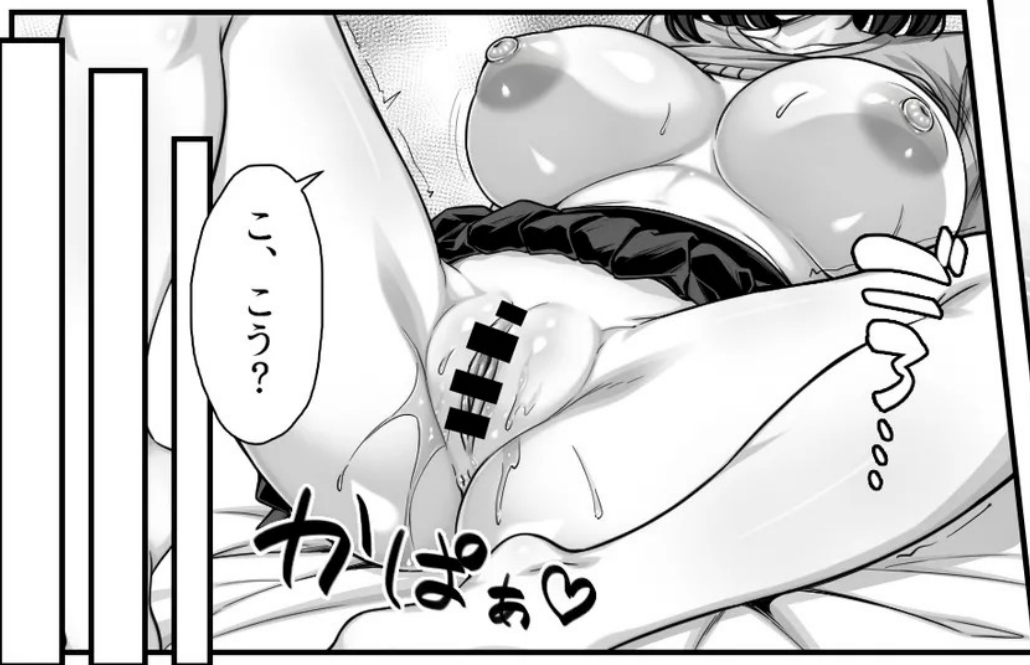
嬉しい  
俺たち相性  
ぴったりだね

自分がメスだと  
分からせられる…♡

♡



んっ…え？  
寝転がる…？



かい  
お♡



七海の顔見ながらしたいから  
寝転がってよ

股を開いて…







気持ちよくて幸せで  
何もわかにやい…♡

もう！  
なんでそんな  
可愛いんだ！

彼女になった  
証を刻み込んでやる！

だ  
射精すぞ！  
七海…！！

うん…だして♡  
けーいちのを中に♡



